

東京都医師会 在宅医療委員会企画 シンポジウム 2025.5.24
大都市における一次医療の充実に向けた在宅医療の役割

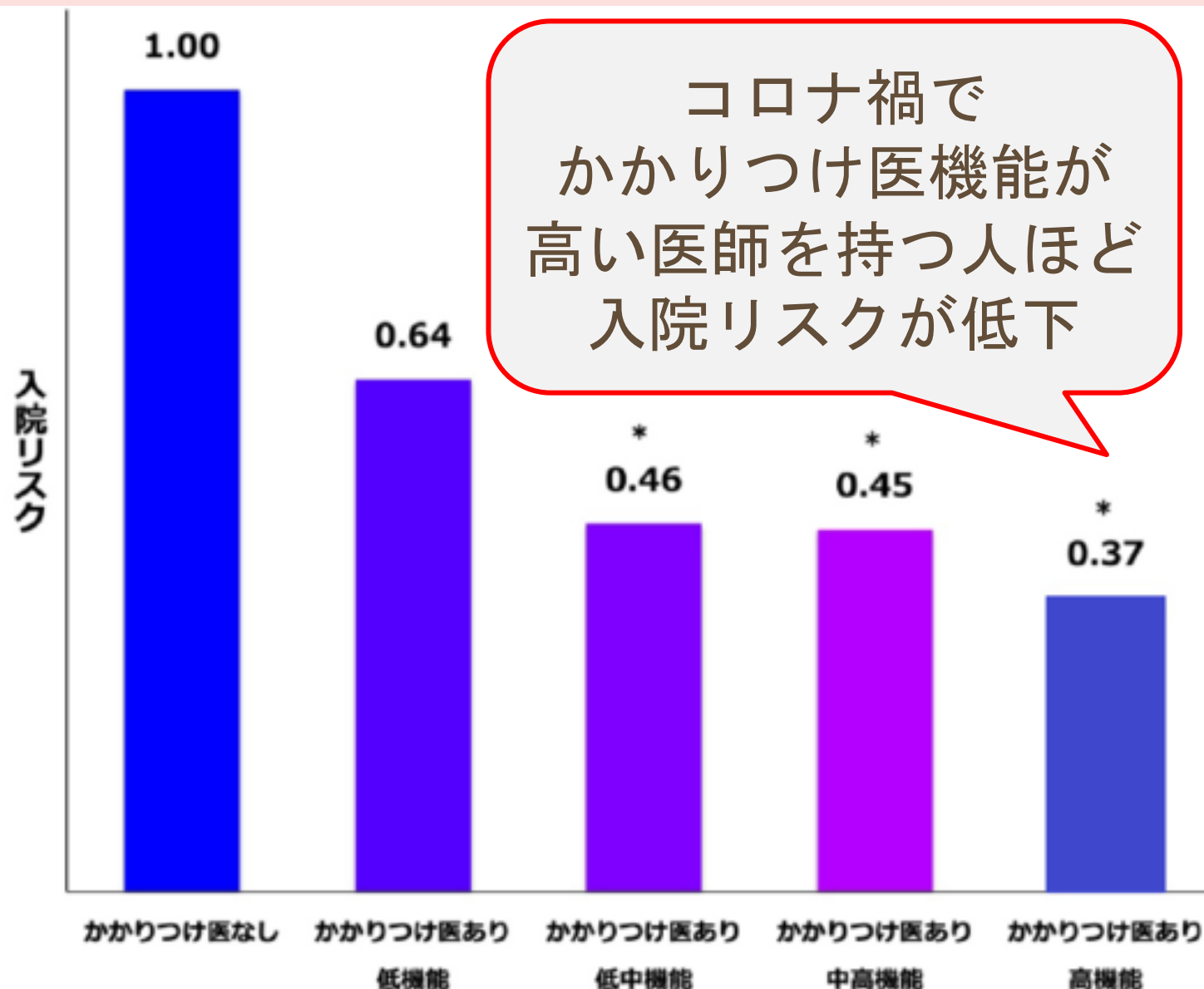
2040年を見据えて
大都市における一馬力診療所が
かかりつけ医として機能するために



東京都医師会在宅医療委員会
新宿区医師会

牛込台さこむら内科 迫村 泰成

かかりつけ医の有無、並びにかかりつけ機能の程度別に見た入院リスク



コロナ禍で
かかりつけ医機能が
高い医師を持つ人ほど
入院リスクが低下

- 入院リスクは調整オッズ比の値
- *は「かかりつけ医なし」に対して、統計学的に有意な低下があったことを示す
- かかりつけ医機能はJapanese version of Primary Care Assessment Toolで評価

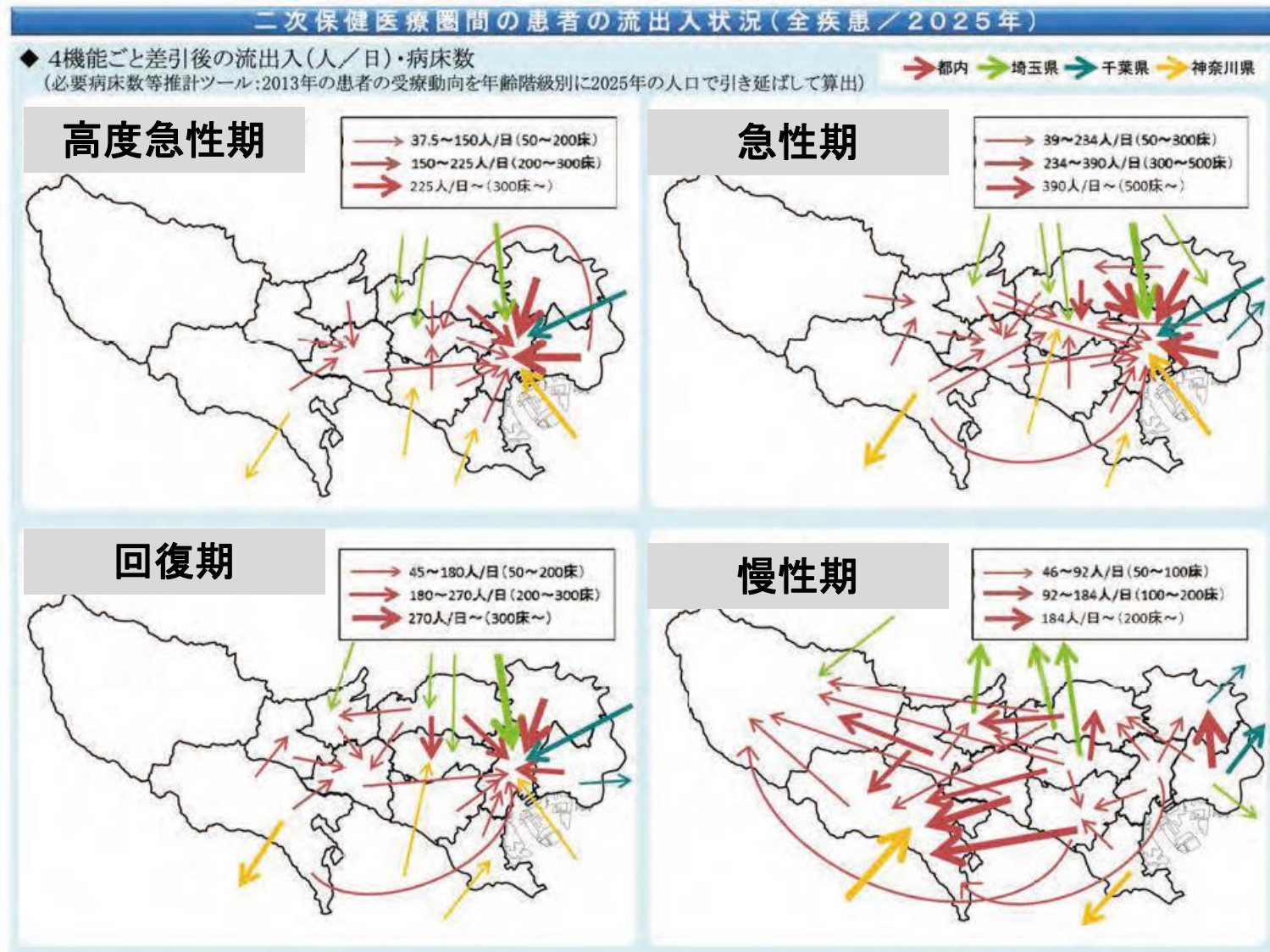
かかりつけ医機能の評価（JPCAT）

Japanese version of Primary Care Assessment Tool

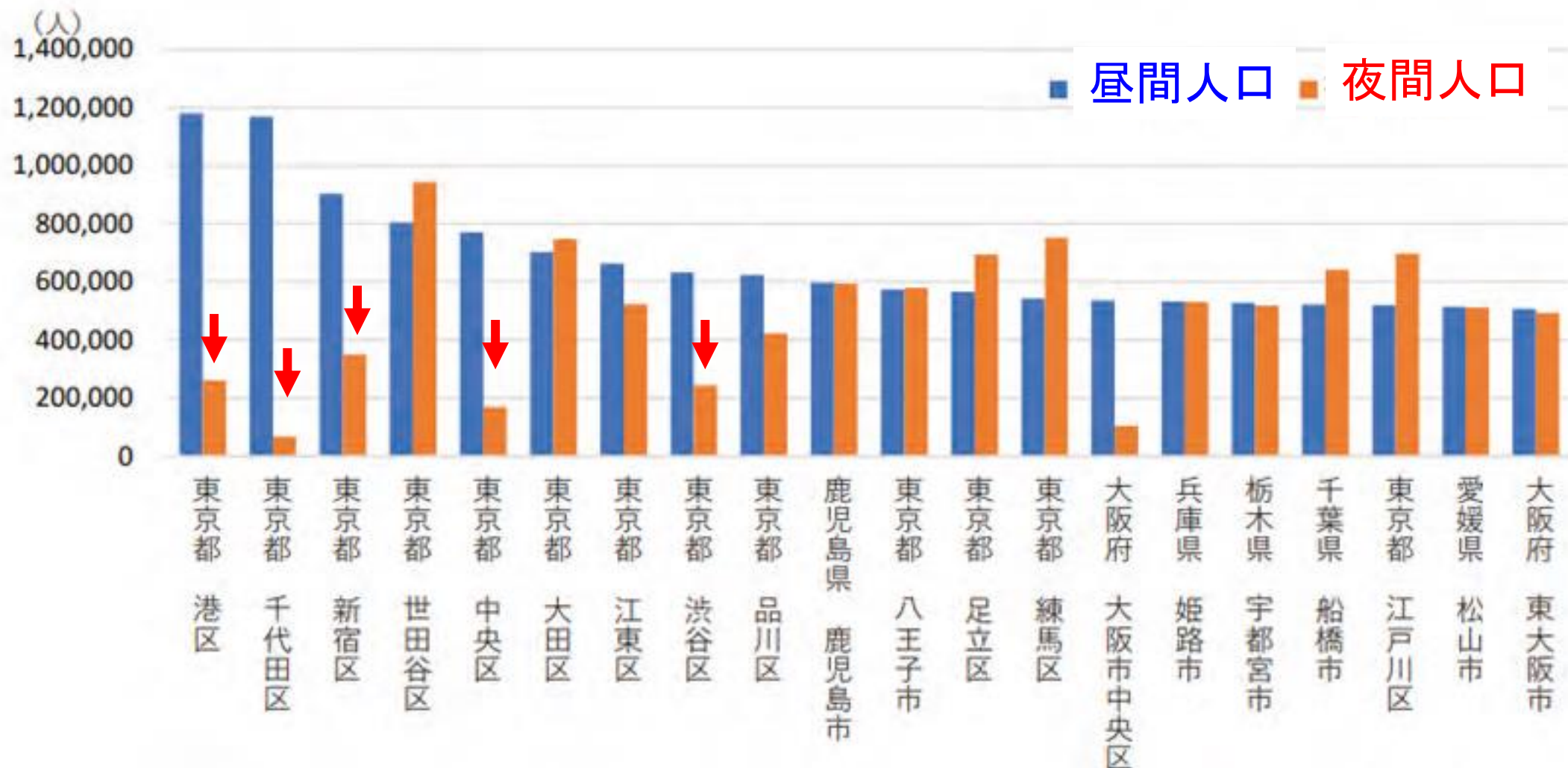
- 1) **近接性**：時間外にも相談や受診の対応が可能かどうか
- 2) **継続性**：患者との間で人に焦点を当てた継続的な関係を築けているかどうか
- 3) **協調性**：専門医療機関との連携が円滑にできているかどうか
- 4) **包括性**：一般的な疾患や症状への対応に加え、アドバンス・ケア・プランニングやメディアの健康情報に関する相談など幅広いニーズに対応できるかどうか
- 5) **地域志向性**：在宅医療を含め、その地域の特性やニーズを踏まえた医療を提供しているかどうか

プロフェッショナル・オートノミー（職業的自律）

二次保健医療圏間の患者の流出入状況(全疾患 年)



昼間人口及び夜間人口一昼間人口上位市区町村 2020年(令和2年国勢調査. 総務省統計局)



町医者＝中小企業のおやじ

患者の具合が悪いときに呼ばれて家で

地域住民のニーズに応える

父の時代（昭和30年代）
往診は開業医の仕事
であった



父 若一郎と往診かばん

有床診療所の風景



**医療と介護が
同じ場所に**



社会的入院

ひとりの高齢者には医療と介護両方が必要である

外来にこんな患者さんはいませんか？

- 認知機能が低下し外来予約日に来なくなる
- どこからも連絡のないまま、緊急入院となっていたことをあとで知る
- フレイルのため通院間隔が延び、本人以外が薬の処方だけを取りに来る
- 超高齢(90代)で食事量も減ってきているが、なんとか車椅子で外来に連れてくる
- COVID-19感染を機に心身の状態が一気に低下した
・・・など

孤立死

自宅で亡く
なられてい
ましたので、
診療経過を
教えてください

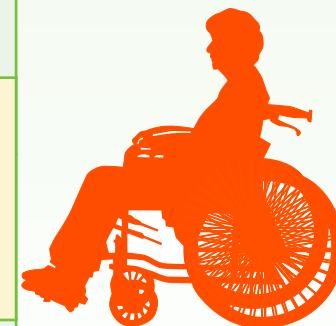




外来通院患者の中にも 往診ニーズの高い層がある

	在宅医療を行わない 個人診療所	在宅医療を行う 個人診療所
訪問診療患者 (要介護者)	(在宅専門に委託)	訪問は自分で行う 連携して対応
外来以上・訪問未満 (通院困難予備群)	往診しない 連携して対応	なるべく往診対応 連携して対応
外来患者	往診不要	往診不要

開業医が動けない時間帯のカバー
夜間・外来中・出張・休暇中など



お年寄りはやがて通院できなくなる..

地域住民に寄り添う

介護

在宅医療
お願いしまーす

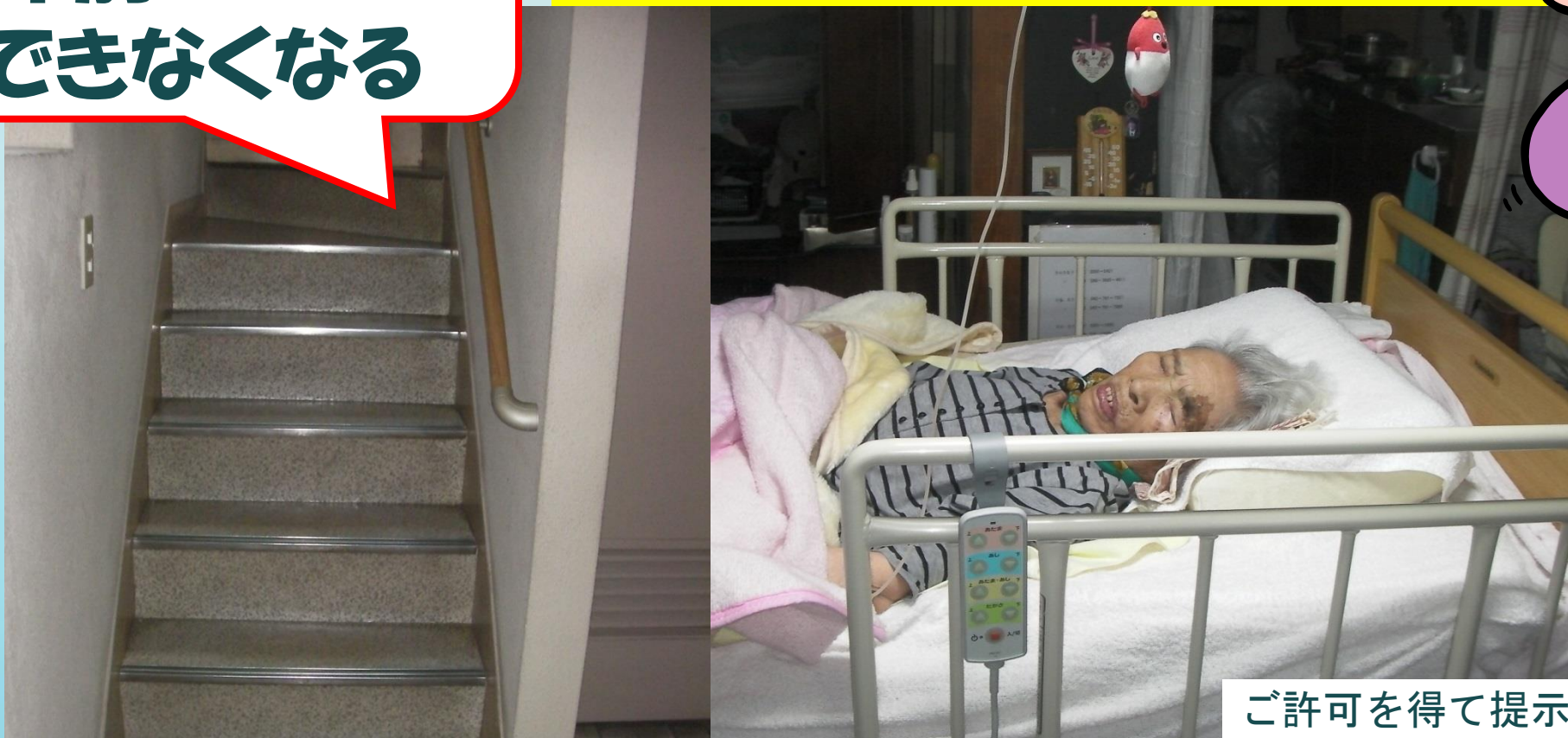
医療



医療保険制度と介護保険制度の両者をフレキシブルに組み合わせることができる

**6段の階段のために
5年前から
外出できなくなる**

訪問診療をお願いします



ご許可を得て提示

**介護ベッド導入、訪問看護、訪問診療、訪問歯科
点滴による脱水補正、床ずれの処置**

3ヶ月在宅療養し、住み慣れた自宅で 3人の娘さんに囲まれて亡くなる



**社会から孤立
しないことが
大切**

ご許可を得て提示

人生の長い旅路を 伴走する

